

クラス	TU114	担当教員	渡辺 顕一郎
テーマ	子ども家庭福祉における実践研究		
著書・論文 研究課題等	「詳解 地域子育て支援拠点ガイドラインの手引」中央法規、2011年 「男子草食化、女子肉食化のススメー自立への助走ー」文芸社、2011年 「子ども家庭福祉の基本と実践」金子書房、2009年 「障害児の自立を見すえた家族支援」中央法規、2006年		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>目的：</p> <p>児童福祉（保育を含む）や隣接領域（教育、母子保健など）の現場に何らかの形で参加しながら、現代の子育ち・子育てをめぐる問題について学びつつ、子どもに対する支援だけでなく、家族や地域へのアプローチを含めながら総合的な支援のあり方について研究する。</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育ち・子育ての背景にある社会状況の理解</li> <li>・ 子どもの個性と主体性を大切にしたいかかわり方</li> <li>・ 子どもと保護者のニーズを理解する方法</li> <li>・ 子どもの発達支援、家族支援の方法</li> </ul> <p>方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前にグループでの課題研究を行った上で、保育所、子育て支援センター、学童保育、障害児デイサービスなどの現場に出向いて、ボランティア活動を行う。実践に基づいた研究を指向する。</li> <li>・ 県内の近隣地域だけでなく、夏期休暇中に合宿を兼ねて県外の先進的な活動団体への視察（ボランティアを含む）を行う。</li> <li>・ その上で、卒業研究（ゼミ論形式）を完成させる。</li> </ul> <p>授業計画：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年次は「グループでの課題研究→プレゼンテーション→現場でのボランティア→実践報告」を繰り返す。</li> <li>・ 夏期休暇中に、県外の先駆的な活動団体・施設等への視察に出向く。</li> <li>・ その他、進め方の詳細については随時ゼミ生と相談して決める。</li> </ul>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
机上の学習だけでなく、現場に出向いての活動を大切にするので、積極的に実践の中に身を置いて子どもや保護者とかかわることを希望する学生を募ります！			